

新たな総合計画策定にかかる 考え方とプロセス



1. 現行計画の基本構想（定義）

はじめに	県都前橋の再生に向けた「新しい価値の創造」を目指して（市長挨拶文）
序章	I 序章 1 第六次前橋市総合計画の改訂について 2 策定の背景
基本構想	II 改訂基本構想 1 将来の都市の姿 2 施策の大綱
基本計画	III 後期基本計画 第1編 将来都市像の実現に向けて 第1章 生命都市の基本的な考え方 第2章 都市のグランドデザイン 第2編 生命都市推進プロジェクト 第3編 分野別計画 第1章 快適で暮らしやすいまちづくり 第2章 産業・経済の発展 第3章 環境・文化の向上 第4章 社会福祉の充実 第4編 計画の推進にあたって
資料編	IV 資料編

前橋市の将来都市像を掲げ、それを実現するために取り組む基本的な枠組み（施策の大綱）を示す。



将来都市像

<本市の地域特性>

- 全国屈指を誇る**医療**機関、健康・福祉施設の集積
- 豊かな**自然**に囲まれた潤いある都市
- 暮らしやすく、**災害に強い**、県都・前橋
- 市民の**食文化**を支える全国有数の**農業生産力**
- 歴史**に裏打ちされた風格と情緒あふれる**前橋文化**



これらの地域特性をベースに
「元気で楽しいまちづくり」を進め、
人もまちも生き生きと輝く
「生命都市いきいき前橋」の実現を目指す

Ⅱ 改訂基本構想

1 将来の都市の姿

(1) 将来都市像



前橋市は、人もまちも生き生きと輝く都市を目指して、

生命都市いきいき前橋

を将来都市像とします。

本市は、水と緑あふれる豊かな自然環境や高い農業生産力、充実した医療環境など、生命に関係する恵まれた地域特性と、悠久の時の流れに培われた歴史的価値や、地域の多様な個性、文化的価値を有しています。

これらの特徴は、本市が生命を尊び、育み、守るにふさわしい都市であることの証であり、引き続き、誰もが安全に安心して快適に暮らせる都市環境を持続していきます。

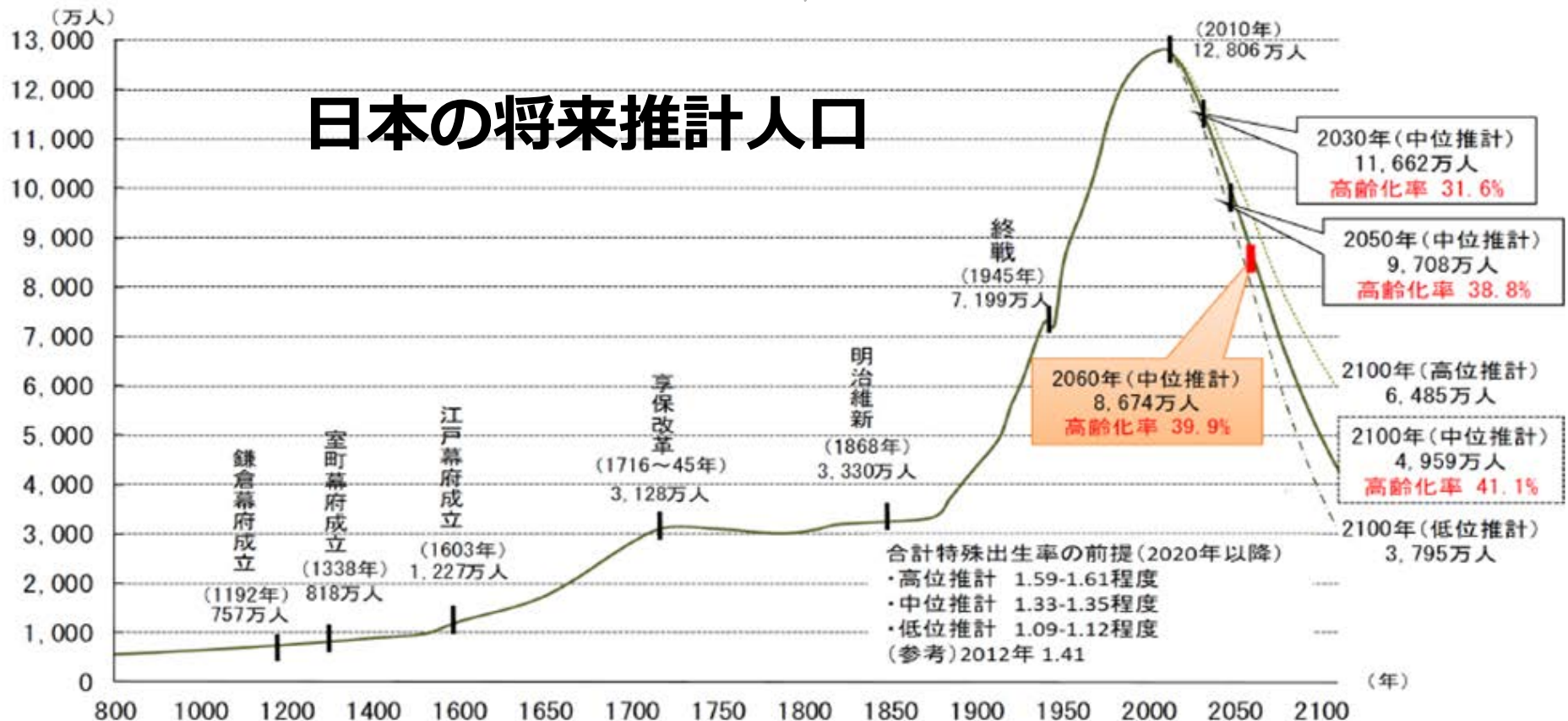
また、本市固有の地域特性と、市民や地域が持つ「力」を都市の成長を支える栄養として活用し、地域の活力が地域の中で持続的に循環する流れを作り出すことで、従来の概念や価値観に捉われない「新たな前橋らしさ」を生み出していきます。

このように、県都としての求心力や都市全体の活力を高めながら、「産業や人材を育み、皆が住みやすく、自然にもやさしく、文化が豊かであること」を基本に、「**元気で楽しいまちづくり**」を進め、人もまちも生き生きと輝く「生命都市いきいき前橋」の実現を目指します。

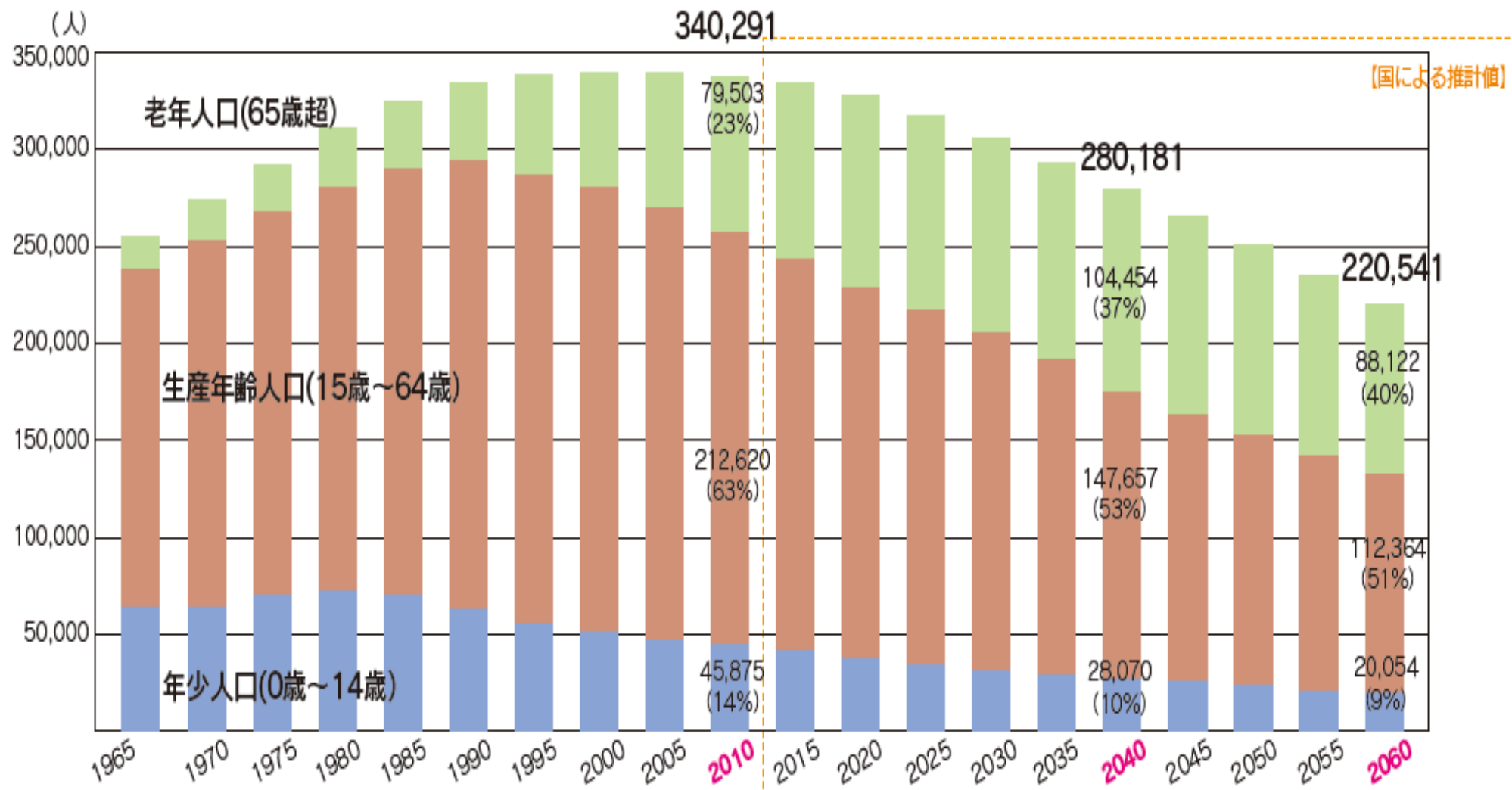
2. 前橋市の課題と地域経営の必要性

2010年
1億2,800万人

2100年
5,000万人

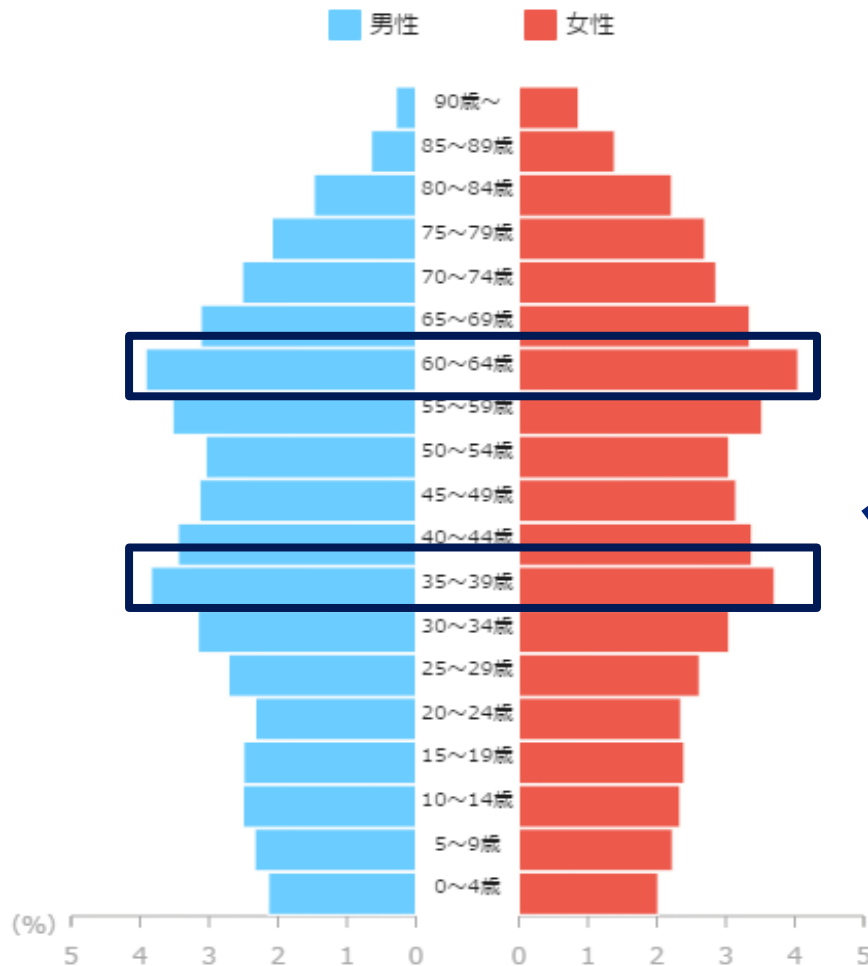


前橋市の将来人口推計（国推計）

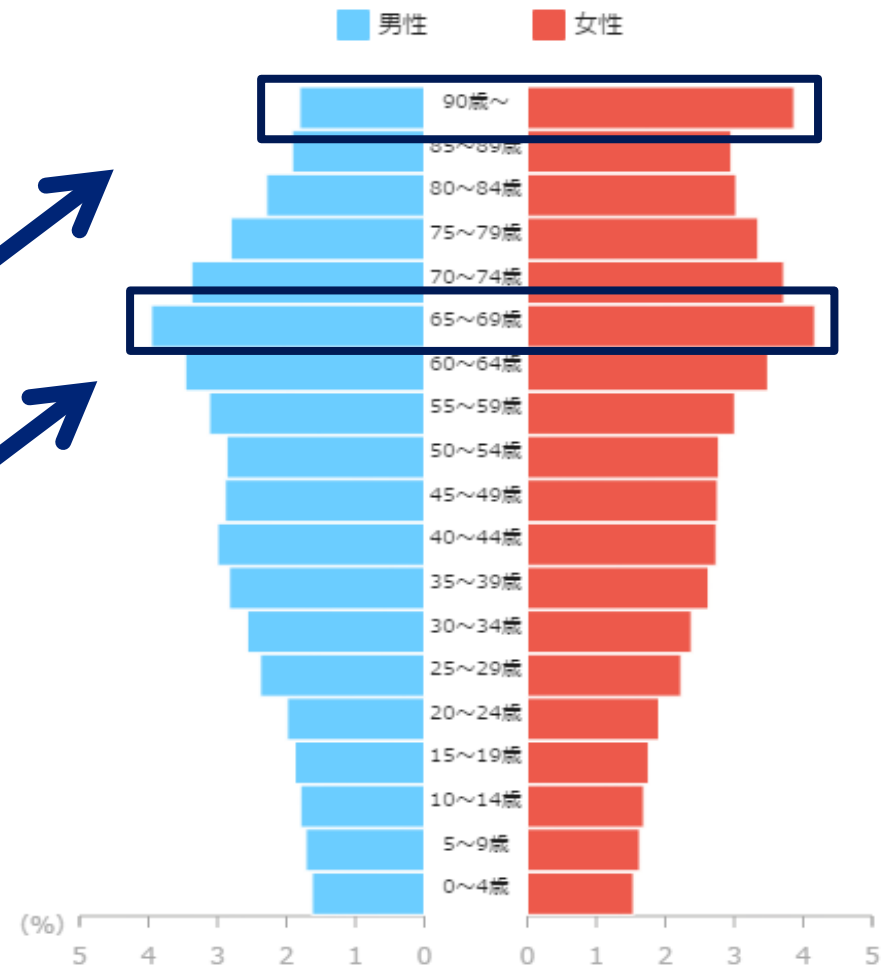


前橋市の人口ピラミッド

2010年



2040年



	2010年		2060年
人口	34万人		22万人
高齢化率	23%		40%



人口や年齢構造の変化



市民生活に大きな影響を及ぼす多くの社会課題に直面
(少子高齢化、子育て世代の減少など)

地域経営の必要性

- 社会環境の変化に対し、地域課題の発見を行政機関だけで行うことは困難になりつつある。
- 課題を発見したとしても、これらを解決する技術やノウハウを行政機関だけでは十分に有していない。

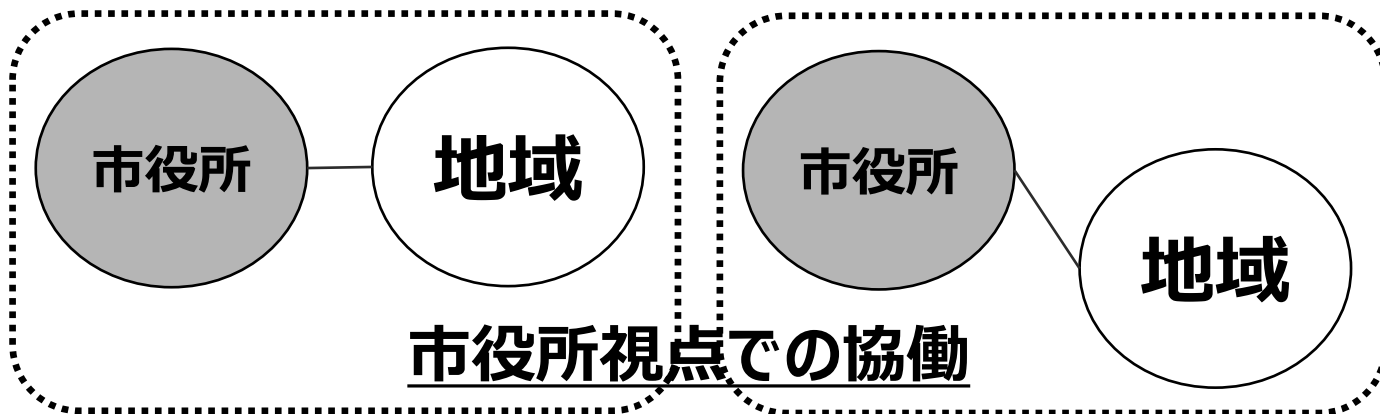


地域 経営

- 市民、企業・団体、行政が連携を深める
- それぞれが「自分ごと」として課題を捉え、自主的・自律的に解決する

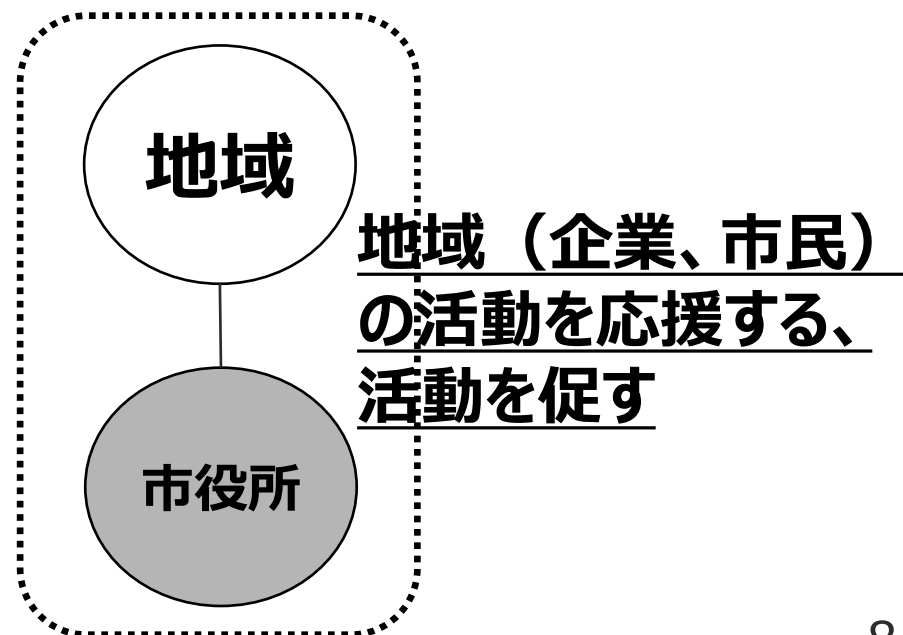
これまで

自治体経営



これから

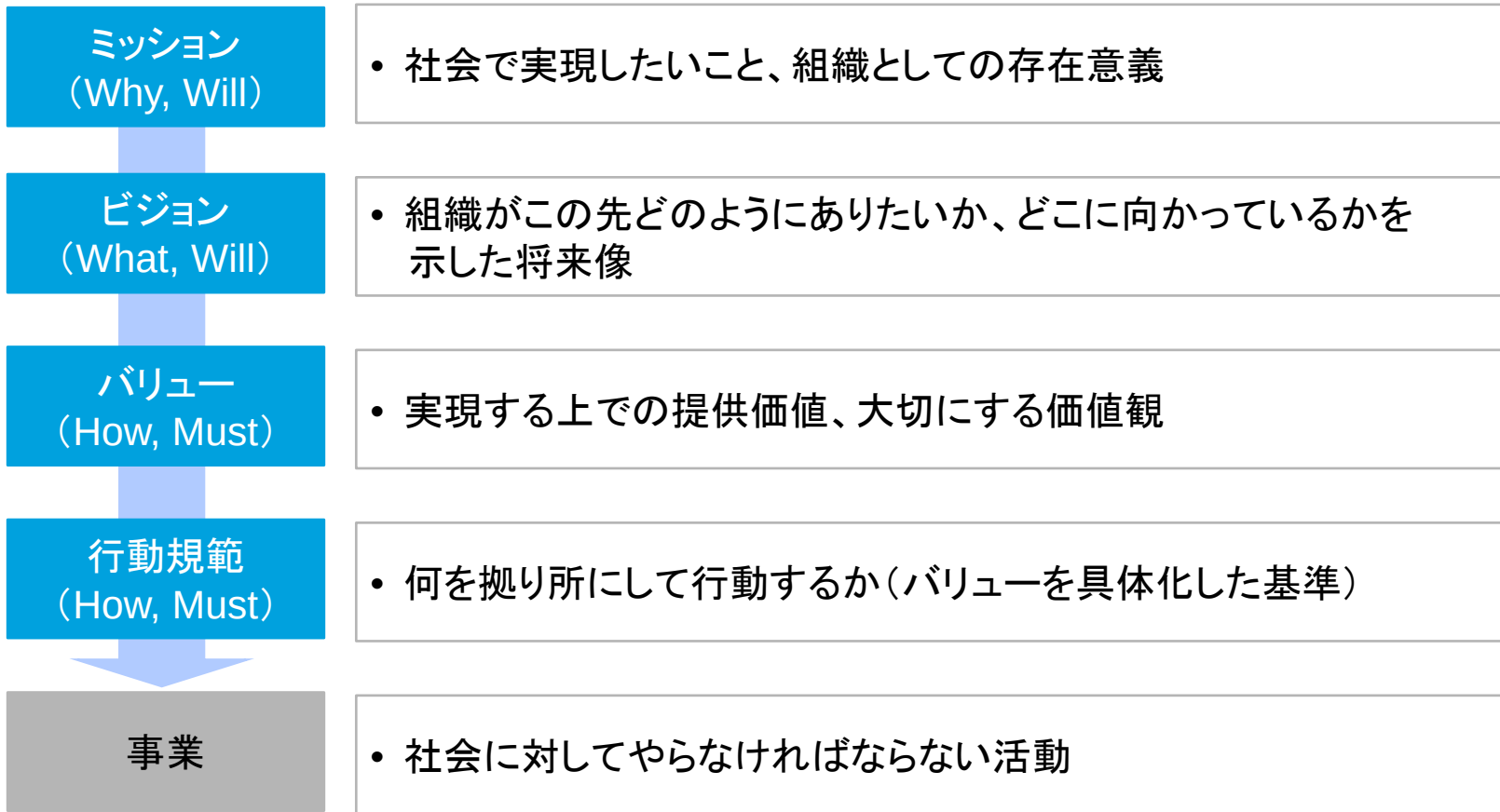
地域経営



市役所は地域（市民、企業・団体）と連携し、前橋という地域を経営する

3. 新たな基本構想の検討

(参考) 経営理念の構成要素



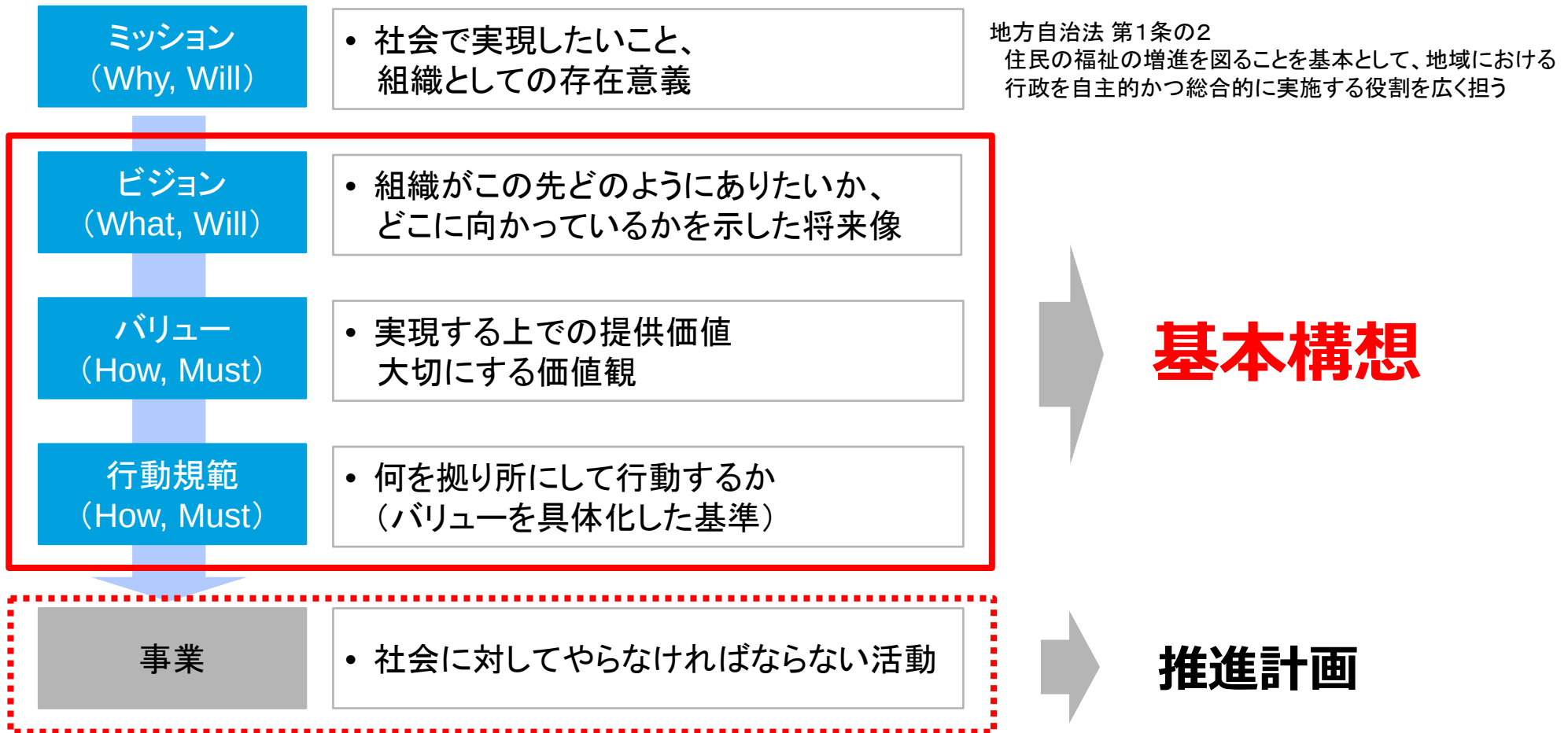
(※) ミッション・ビジョン・バリュー

経営学者のピーター・ドラッカーが整理・提唱した概念で、多くの企業が定義している。

民間企業の事例

	ANAグループ	花王	パナソニック
ミッション	安心と信頼を基礎に、 世界をつなぐ心の翼で 夢にあふれる未来に貢献します	私たちは、消費者・顧客の立場にたって、心をこめた“よきモノづくり”を行ない、世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、社会のサステナビリティ（持続可能性）に貢献することを使命とします。	A Better Life, A Better World
ビジョン	ANAグループは、お客様満足と価値創造で世界のリーディングエアライングループを目指します	私たちは、それぞれの市場で消費者・顧客を最もよく知る企業となることをグローバルにめざし、全てのステークホルダーの支持と信頼を獲得します。	—
バリュー	私たちは「あんしん、あったか、あかるく元気！」に、次のように行動します。 1.安全 2.お客様視点 3.社会への責任 4.チームスピリット 5.努力と挑戦	よきモノづくり 絶えざる革新 正道を歩む	基本は経営理念 価値創造による社会貢献 社会との密接なつながり 企業は社会の公器 地球環境はかけがえのないもの グローバルな視野と行動 経営理念の実践
行動規範	—	消費者起点 現場主義 個の尊重とチームワーク グローバル視点	—

第七次総合計画の位置づけ（案）



**総合計画は、大きな時代の変化にあっても、
進むべき方向性を見失わないための指針**

II

**地域経営を進めるにあたっては、
地域全体で「ビジョンや価値観」を
共有することが重要**



どのような「ビジョンや価値観」を打ち出すべきか？

前橋のDNA（第六次前橋市総合計画）

自然



安全



歴史文化



農業



健康



医療



前橋のDNA

これらは、このまちで暮らしてきた
多くの人々が、長きにわたって愛し、
守り、育て、残してきた財産であり、
ここ前橋が、人々の暮らしを支え、
「良いものが育つ場所」である証



これまで大切にしてきた本市の魅力
を守り、育て、高めながら、
ここに暮らす「人」を中心に据えた
まちづくりを進めることが重要



市民が主導するまちづくりの指針

めぶく。

Where good things grow.

その芽は、まだ小さい。

風に吹かれ、雨を待ち、太陽の熱さにその身をあずける。

そしていつか、枝をつけ、葉を繁らせ、

強く太い幹となる日を夢見ている。

人は芽だ。この地は芽だ。そしてつながりは芽だ。

いまは若い芽だけれど、未来の大樹を隠し持つ芽だ。

Where good things grow.

この地ではじまる、芽ぐみ。

ここから、よきものが伸びてゆく。

いくつもの芽が育ち、やがては大きな森をつくっていくだろう。

Where good things grow.

わたしたちは、この地の芽吹きのために、

未来に希望の森を見るために、

厳しくも優しい風になろう。

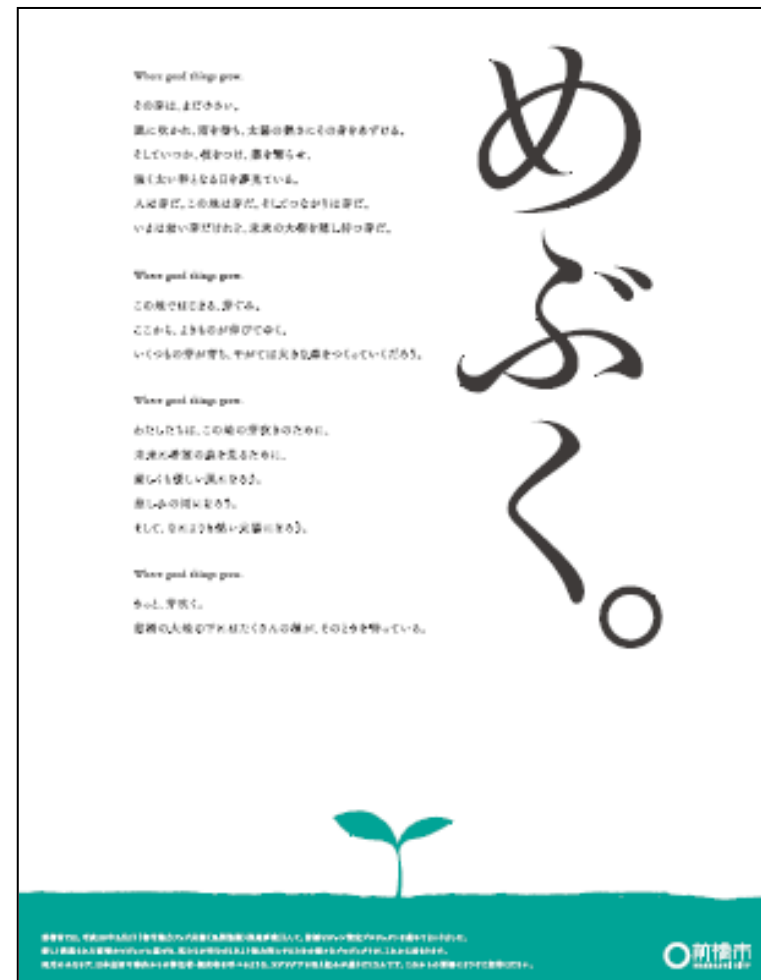
慈しみの雨になろう。

そして、なによりも熱い太陽になろう。

Where good things grow.

きっと、芽吹く。

前橋の大地の下にはたくさんの種が、そのときを待っている。



めぶく。

Where good things grow

ビジョン

姿勢

体感できる
コミュニティ

様々な体験の
バランス

意識のある
取り組み

価値観

活発
協力的

多様性
クリエイティブ

包括的
持続性

職員ワークショップでの検討

(専門部会による課長・係長級職員60名)

テーマ

地域全体で共有するビジョンや価値観を考える

- ①地域課題に対する解決策を考える**
- ②地域課題の解決に向け、地域で共有する価値観を考える**
- ③前橋ビジョンとの整合を考える**





意見例：①地域課題に対する解決策を考える

テーマ：地域課題に対する解決策を考える

従業員の高齢化

若者の積極的な
参加

老人クラブ自治会
への加入促進

若者の参加
(若者・学生・社会人の
参加促進)

若者の女性
参加(女性)
の積極的な参加

地域住民の世代
交流

若者会と自治会
の連携強化

若者の流出

若者の流出
防止策

高齢者の居場所
づくり

交流・合・体利(SPA)
の構築

若者の参加
促進策

地域コミュニティ

若者の参加
(若者)
の積極的な参加

若者の参加
(若者)
の積極的な参加

他世代居住への
支援・補助

若者の参加
(若者)
の積極的な参加

コンパクト
シティ
の推進

出生率の低迷

出生率の低迷
防止策

マイ家の充実

若者の参加
(若者)
の積極的な参加

若者の参加
(若者)
の積極的な参加

ボランティアによる
移動支援

地域主体による
交通手段の運営
(バス・タクシー)

地域内移動
促進のバス運行

移動困難者・買い物弱者

完全な制度の充実

移動販売車
への支援

ボランティアによる
買い物代行

若者の参加

商店の無い地域
への出店補助
開業支援

B

→ 地域課題に対する解決策を考える

従業員の高齢化

若者の減少

地域コミュニティの存続

生活支援

技術事業の継承

事業継承センター

多様な就業先
(経験、職業等)

市内企業の
周知(ウェブ等)

大学の誘致
(人材育成)

インテリゲンシアの
充実

技術のマニュアル
化 → 若者への
伝達

民間の
企業紹介

就職先企業
を増やす

創業支援

奨学金返済
支援

大学等との
連携

熟練従業員
と新人の共生

企業家の
継承

地域の若者
への就業機
会の拡大

ジョブスタ
ーとしての
活用

出食の場
機会の増大

キャリア教育
支援

人材育成
職業訓練

定年退職者の
就業先
の確保

雇用就業の
促進

移住者の受け入れ

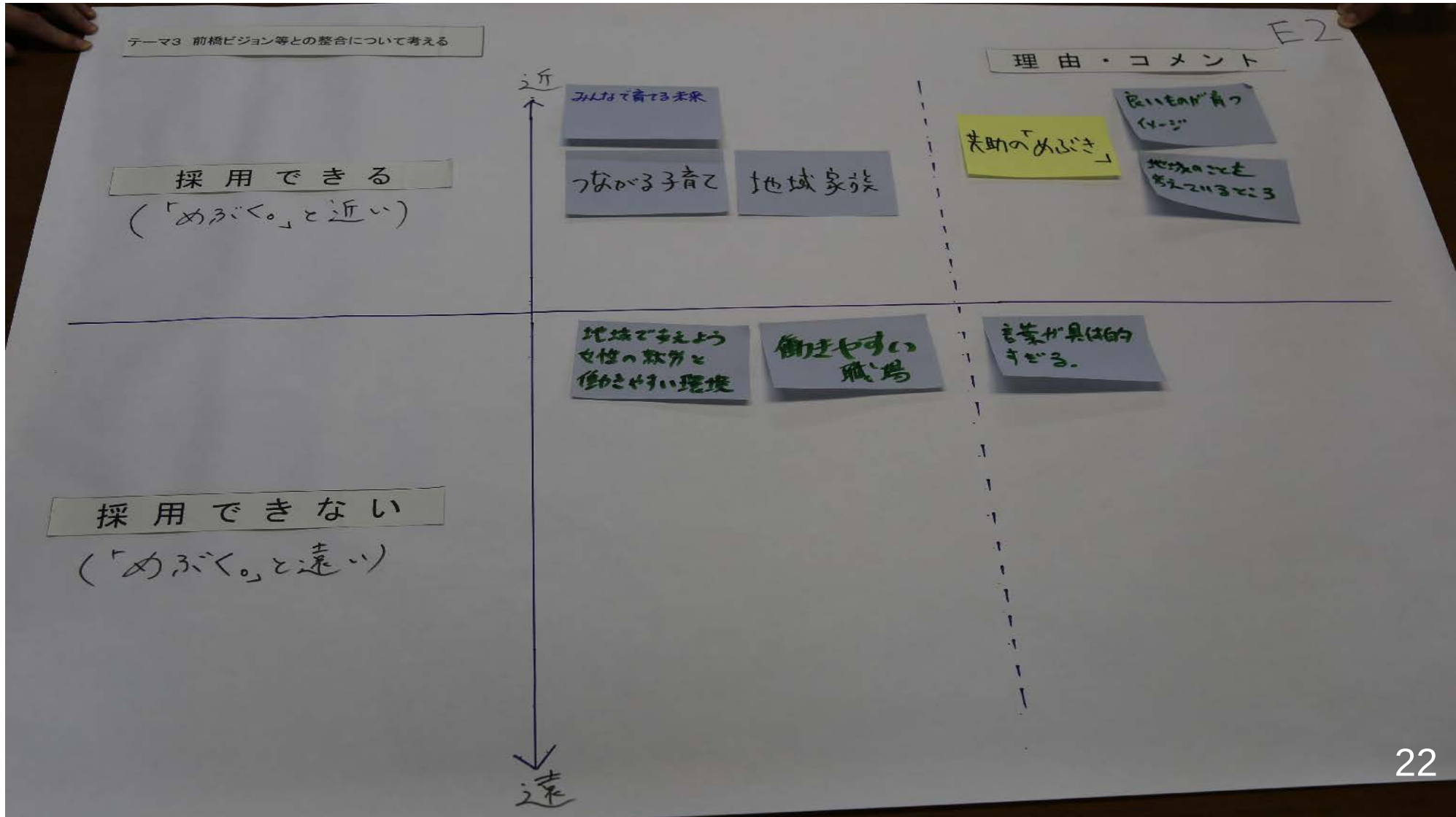
買い物弱者

魅力ある学校の
創設

出生率の低迷

民間の育成

意見例：②地域課題の解決に向け、地域で共有する価値観を考える ③前橋ビジョンとの整合を考える



テーマ3 前橋ビジョン等との整合について考える

B₂

理由・コメント

採用できる

(「めぶく。」に近い)

採用できない

(「めぶく。」と遠い)

近

遠

住み心地
暮らしやす
安心生活
誇り自慢

ふるさとを
見直そう!

ふるさと前橋を
実生活!!

ずっとここにいたい
まちづくり

共生社会を
実現しよう!

自分(人々)の個性を活か
まちづくりをしよう!!
前橋を

主体的なアクション
と

多様性の許容
(他者理解)

まちの若者を
みしはて育てる

若者の笑顔
がみたい

前橋を支える人
を応援したい

未来と担う若者
が安心して過ごせる
まちをつくる

前橋には
その可能性が
あるから

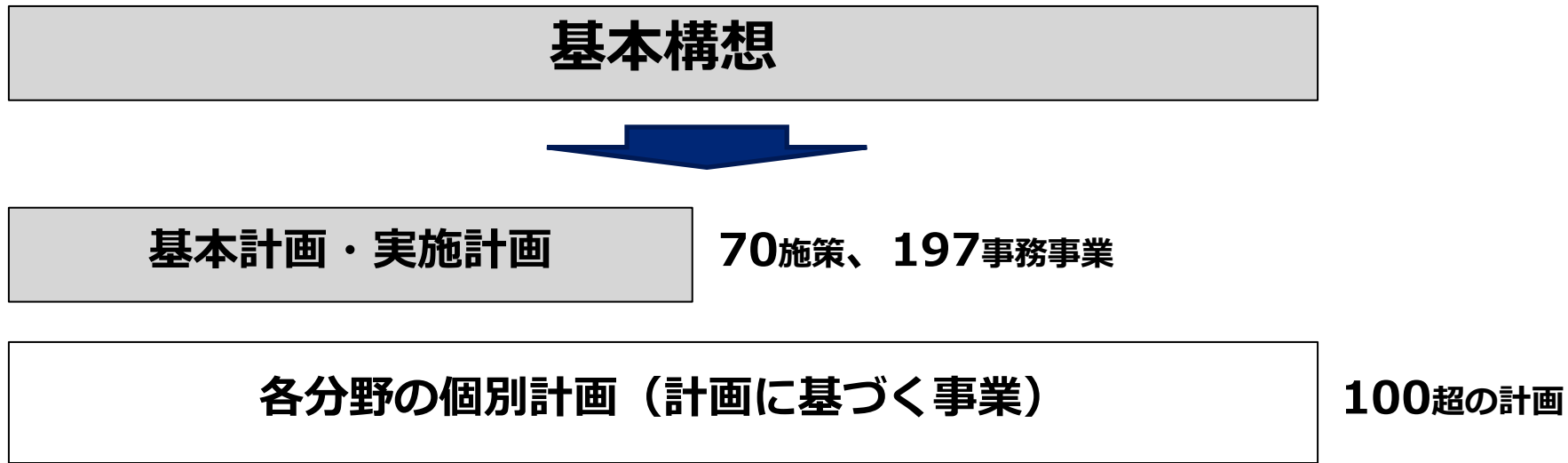
4. 計画策定を通じて達成するもう一つの側面

組織の働き方改革・歳出削減を実現する

- 第七次総合計画は、長期的な市政運営の方向性を示すとともに、各分野の個別計画との関係を再構築し、組織的に仕事のやり方を考える契機とする。
- 第七次総合計画のうち、基本構想は、地域全体で共有すべき価値観やそれを支える姿勢を示す。推進計画は、地域経営を進める柱や重点的に取り組むテーマ・施策を明示する。
- 各分野の個別計画は、法律により義務付けられている計画を除き、総合計画（基本構想・推進計画）の推進に寄与するかという視点で、計画の廃止や縮小を含め、そのあり方を検証する。
これにより、成果志向や選択と集中の観点に立った事業の優先順位づけを行うことで、「計画があるから仕事をする」という負のスパイラルから脱し、働き方改革や歳出削減を実現する。

総合計画と個別計画の関係イメージ（範囲）

第六次総合計画

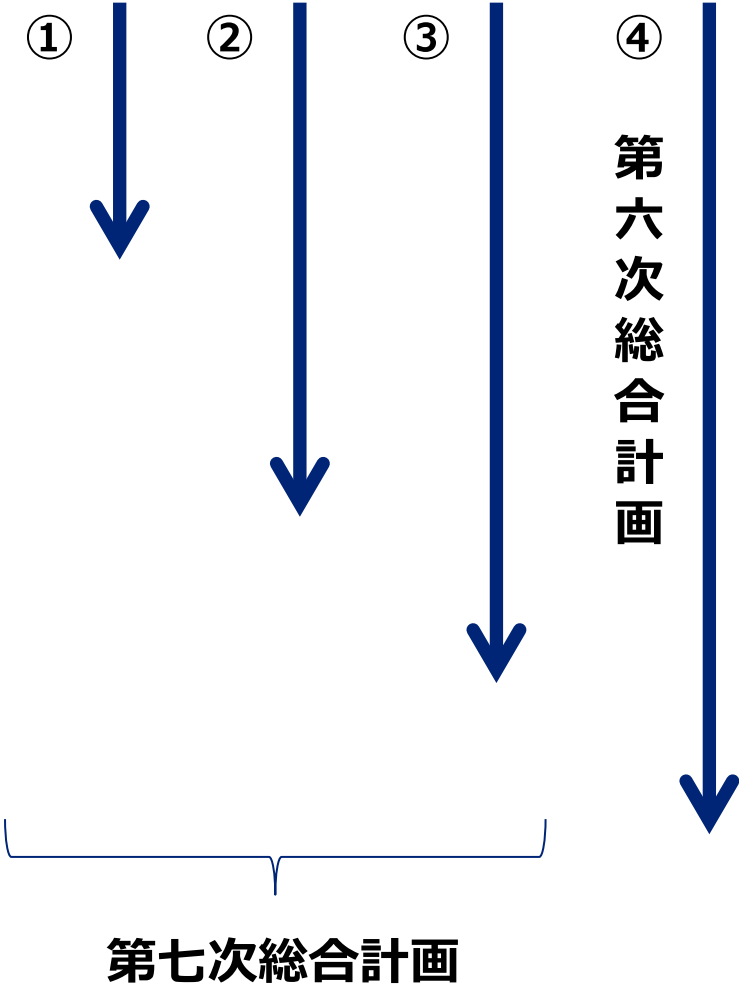
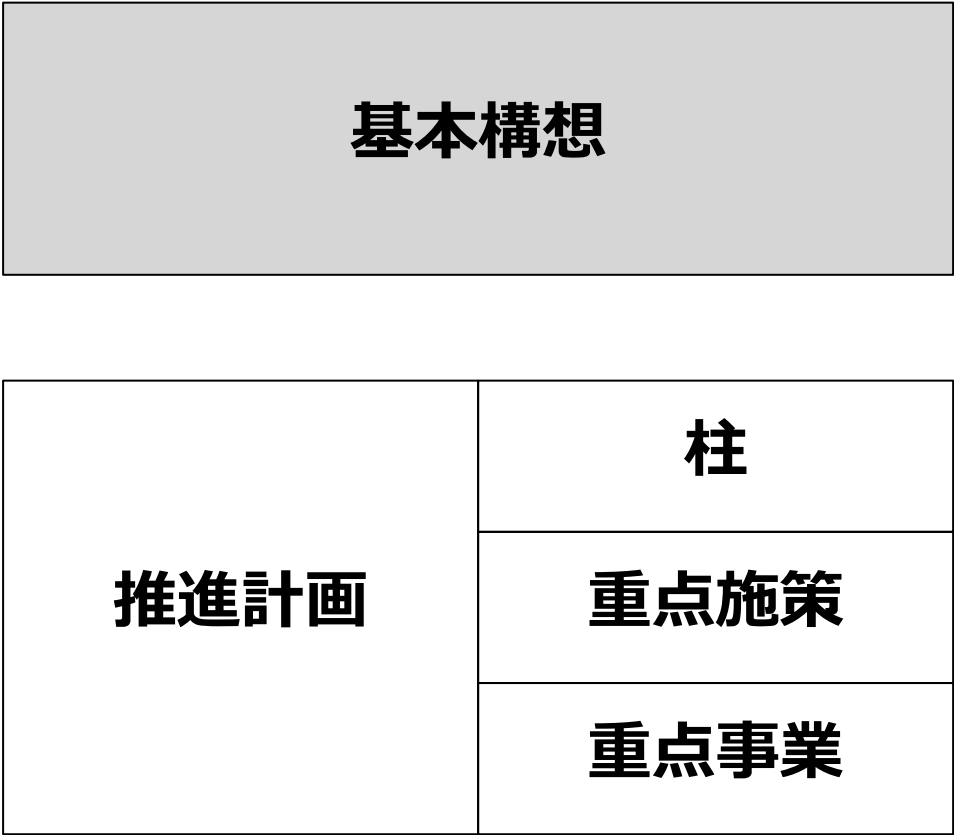


第七次総合計画



※選択と集中による施策・事業の絞り込み

総合計画と個別計画の関係イメージ（深さ）



第七次総合計画の構成（案）

基本構想

○地域全体で共有すべき価値観 「めぶく。～where good things grow～」

○姿勢

認め合い、支え合う

つながり、創造する

未来への責任を持つ

個別計画

推進計画／10年間

○市政運営の方向性（地域経営の6つの柱）

例）

教育
人づくり

しごと

結婚出産
子育て

生涯活躍

人の流れ

持続性

○取組方針 「多様な担い手との連携による新しい価値の創造」

○重点テーマ（計画期間中に特に重点的に取り組むテーマと施策）

例）

テーマ1
健康で豊かな長寿社会をつくる

重点施策1 健康寿命の延伸に向けた健康増進、介護予防
（重点計画 健康増進計画、スマイルプラン 等）

重点施策2 多様な主体が協働した支援体制
（重点計画 地域福祉計画、障害者福祉計画 等）

重点施策3 安心の医療環境整備
（重点計画 医療監視計画 等）

テーマ2
仕事と子育てが両立できる社会をつくる

重点施策1 働き方改革の推進

重点施策2 地域全体で子育てを支える風土づくり

重点施策3 総合的な相談体制や支援体制の構築

※6テーマ、18重点施策程度を想定
（詳細は今後検討）

重点事業 健康づくり事業の推進
（重点計画 健康増進計画、スマイルプラン）

重点事業 医療費の適正化
（重点計画 国民健康保険データヘルス計画）

重点事業 健康ポイント事業
（重点計画 ○○計画）

※「重点事業」は「個別計画事業」と一致させる。

※原則として、個別計画による進行管理を実施するものし、必要な成果を推進計画へ反映させる。